

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2026年3月11日

～本格的な宇宙旅行時代を見据えて新たなリスクに対応～
サブオービタル旅行専用の宇宙旅行保険を提供開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、宇宙空間を体験できるサブオービタル旅行^{*1}専用の宇宙旅行保険を2026年4月より提供開始します。本商品は、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）との「宇宙旅行保険事業」に関する共創活動^{*2}において開発した「JAXA LABEL」^{*3}付与商品です。当社は、本格的な宇宙旅行時代の到来を見据えて新たなリスクに対応し、サブオービタル旅行の安心・安全な体験環境を支援するとともに、民間宇宙旅行の発展に貢献していきます。

※1：地上から出発し、高度100km程度の宇宙空間まで上昇後、地球を周回せず地上に帰還する宇宙旅行の一つ。

※2：[三井住友海上とJAXA、「宇宙旅行保険事業」に関する共創活動を開始](#)
(2022年7月20日ニュースリリース)

※3：「JAXA LABEL COLLAB」はJAXAとの共同研究を始めとしたコラボレーションから生まれた商品に対して付与されるロゴマークです。本商品に関する一切の責任は当社に帰属します。



1. 背景

近年、幅広い業種の民間企業による宇宙事業への参入が増え、宇宙開発の中心が官から民へと移行しつつあります。これまで宇宙飛行士のみが体験できた宇宙空間は一般旅行者にも広がり始め、「宇宙旅行元年」とされる2021年には、一般の宇宙旅行者数が初めて宇宙飛行士を上回りました。特に、サブオービタル旅行は、数分間の無重力状態や宇宙からの地球の眺めを体験できる新しい旅行形態として、海外ではすでに商業運航が開始されています。今後、国内企業でも商品化が見込まれる一方、従来の旅行にない無重力空間固有の新たなリスクが想定されます。このような中、当社がこれまで宇宙保険サプライヤーとして培ってきた知見を活かすことで、サブオービタル旅行のリスクに対応する保険商品の開発に至りました。

2. 商品概要

サブオービタル旅行の参加者を対象に、自宅を出発してからサブオービタル飛行を体験し、自宅に帰るまで、一連の行程を網羅的に補償します。

被 保 険 者	サブオービタル旅行者
保 険 期 間	被保険者がサブオービタル旅行のために自宅を出発してから、海外の射場に到着し、サブオービタル飛行を体験後、海外の射場から自宅に帰着するまでの全旅行行程
主 な 補 償 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地上およびサブオービタル旅行中のケガや疾病による死亡・後遺障害 ・ 旅行中の治療費用 ・ 携行品損害 ・ 第三者（同乗者等）への賠償責任 など
補 償 内 容 の 例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打ち上げ時の衝撃によりケガをして、医師の治療を受けた費用。 ・ 宇宙空間から帰還後、疾病を起因とするめまいや吐き気等の症状で医師の治療を受けた費用。 ・ サブオービタル旅行中に、他人にケガをさせてしまったことによる損害賠償。



3. 今後の取組

内閣府の宇宙基本計画では、中長期的に市場の拡大が期待される宇宙旅行等の有人宇宙輸送分野について、民間企業が主導し、官民連携の下で開発・事業化を進めていくことが明記されています。

当社は、本商品の開発を通じて得た知見を基に、宇宙旅行者の多様なニーズに応えるサービスの開発を進めていきます。また、将来的には国際宇宙ステーション（ISS）や商業宇宙ステーション^{※4}での滞在、さらには、地球を周回する数日間のオービタル旅行^{※5}を含む「宇宙滞在型」旅行を対象とする保険の開発も検討していきます。

なお、2027年4月に予定しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との合併新会社においても、引き続き宇宙旅行や関連事業向けの提供価値の創出に取り組んでいきます。

※4：2030年に予定しているISSの運用終了後、民間企業が主導して運用する宇宙ステーション。

※5：地上からロケットで打ち上げ後、地球の周回軌道に入り、数時間から数日間過ごすことができる宇宙旅行の一つ。

以上